



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月5日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名  
コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也  
問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 丹羽 利行 (TEL) 052-819-5310  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	19,575	64.8	2,531	171.8	2,551	171.4	1,567	238.8
2023年2月期第3四半期	11,872	△10.6	930	△48.9	940	△48.6	462	△57.9

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 1,659百万円(181.2%) 2023年2月期第3四半期 589百万円(△58.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	93.26	—
2023年2月期第3四半期	27.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	27,565	17,384	58.6
2023年2月期	21,954	15,945	67.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 16,171百万円 2023年2月期 14,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年2月期	—	5.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2024年2月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,613	43.8	2,916	112.2	2,945	108.4	1,774	144.7	105.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期3Q	16,827,120株	2023年2月期	16,827,120株
2024年2月期3Q	35,781株	2023年2月期	3,181株
2024年2月期3Q	16,802,075株	2023年2月期3Q	16,814,827株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結会計期間において、株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「廃石膏ボードリサイクル事業」「その他」事業を「資源リサイクル事業」に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

なお、セグメントごとの比較情報については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が一段と進展した一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域の地政学的リスクの高まり、円安の進行に伴う物価上昇など先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する建設業界におきましては、外部環境の回復基調を受けた民間設備投資の持ち直しや、堅調な公共投資により、建設投資全体は増加基調を維持しておりますが、原材料価格の高騰や建設技術者・労働者不足等の影響により、経営環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループも外注費及び運賃等の上昇等の影響を受けましたが、土壌汚染調査・処理事業については、継続して高付加価値案件の受注やコンサルティング営業に注力したことにより、各エリアの大規模土壌処理案件が当社グループの業績に大きく貢献しました。資源リサイクル事業については、廃石膏ボードリサイクル事業が堅調に推移したことに加え、連結子会社化した株式会社杉本商事及びその子会社の業績が第2四半期連結会計期間より寄与しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19,575百万円(前年同期比64.8%増)、営業利益2,531百万円(同171.8%増)、経常利益2,551百万円(同171.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,567百万円(同238.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### (土壌汚染調査・処理事業)

中京エリアの工場再開発案件、関東エリアの大規模工場中埋設廃棄物・汚染土壌撤去工事案件及び関西エリアの大規模工場廃棄物撤去コンサル案件等の高付加価値案件が当社グループ全体の売上及び利益を牽引する等、コンサル営業やグループ会社との連携により採算性が向上し、土壌汚染調査・処理事業の利益率の向上に寄与しました。その結果、売上高16,138百万円(前年同期比68.9%増)、営業利益2,501百万円(同167.7%増)となりました。

#### (資源リサイクル事業)

ポリ塩化ビフェニル(PCB)事業及びバイオディーゼル燃料(BDF)事業は、取扱量の減少及びコスト高の影響等により利益は悪化しましたが、株式会社グリーンアローズ中部及び株式会社グリーンアローズ九州の廃石膏ボード入荷量は底堅く推移し、また、第2四半期連結会計期間より株式会社杉本商事及びその子会社の業績が反映されたことにより、売上高3,614百万円(同44.2%増)、営業利益767百万円(同33.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は27,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,610百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産、のれん及び顧客関連資産が増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は10,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,171百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金及び長期借入金が増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は17,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,438百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年10月2日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年1月5日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	886	1,494
受取手形、売掛金及び契約資産	3,534	5,890
棚卸資産	325	385
その他	352	154
貸倒引当金	△4	△7
流動資産合計	5,094	7,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,786	6,391
土地	7,908	8,175
建設仮勘定	144	241
その他（純額）	1,943	1,875
有形固定資産合計	15,783	16,684
無形固定資産		
のれん	—	810
顧客関連資産	—	903
その他	29	129
無形固定資産合計	29	1,842
投資その他の資産		
その他	1,049	1,121
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,047	1,119
固定資産合計	16,860	19,647
資産合計	21,954	27,565
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,439	2,283
短期借入金	1,200	900
1年内返済予定の長期借入金	981	1,083
1年内償還予定の社債	—	8
リース債務	91	60
未払金	351	374
未払法人税等	141	712
賞与引当金	144	98
その他	170	676
流動負債合計	4,520	6,197
固定負債		
社債	—	16
長期借入金	1,187	3,321
リース債務	150	117
役員退職慰労引当金	—	30
退職給付に係る負債	146	178
その他	3	319
固定負債合計	1,488	3,983
負債合計	6,008	10,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,089	2,088
利益剰余金	10,260	11,659
自己株式	△2	△35
株主資本合計	14,634	16,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	171
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	251	170
非支配株主持分	1,059	1,212
純資産合計	15,945	17,384
負債純資産合計	21,954	27,565

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	11,872	19,575
売上原価	9,538	15,237
売上総利益	2,333	4,338
販売費及び一般管理費	1,402	1,807
営業利益	930	2,531
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	11
不動産賃貸料	0	10
受取保険金	0	11
その他	5	9
営業外収益合計	15	43
営業外費用		
支払利息	5	15
その他	1	8
営業外費用合計	6	23
経常利益	940	2,551
特別利益		
固定資産売却益	9	14
受取賠償金	—	67
その他	—	0
特別利益合計	9	82
特別損失		
固定資産除却損	8	3
減損損失	—	4
特別損失合計	8	7
税金等調整前四半期純利益	941	2,626
法人税、住民税及び事業税	352	942
法人税等調整額	△29	△55
法人税等合計	322	886
四半期純利益	618	1,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	156	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	462	1,567

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	618	1,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△81
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△28	△80
四半期包括利益	589	1,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	1,486
非支配株主に係る四半期包括利益	156	172



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	4,121	1,680	5,802	—	5,802
関東	2,878	39	2,917	—	2,917
関西	2,537	3	2,540	—	2,540
九州	—	611	611	—	611
顧客との契約から生 じる収益	9,536	2,335	11,872	—	11,872
外部顧客への売上高	9,536	2,335	11,872	—	11,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	171	185	△185	—
計	9,551	2,506	12,057	△185	11,872
セグメント利益	934	575	1,510	△579	930

(注) 1. セグメント利益の調整額△579百万円は、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△599百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	7,900	1,765	9,666	—	9,666
関東	5,779	83	5,862	—	5,862
関西	2,455	1,005	3,461	—	3,461
九州	—	585	585	—	585
顧客との契約から生 じる収益	16,135	3,440	19,575	—	19,575
外部顧客への売上高	16,135	3,440	19,575	—	19,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	174	177	△177	—
計	16,138	3,614	19,753	△177	19,575
セグメント利益	2,501	767	3,268	△737	2,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△737百万円は、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△759百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「廃石膏ボードリサイクル事業」から「資源リサイクル事業」に変更しております。また、従来の「その他」事業は「資源リサイクル事業」に含めております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
土壌汚染調査・処理事業	土壌汚染調査・工事、土壌処理
資源リサイクル事業	廃石膏ボード、BDF、PCB、古紙・一般廃棄物処理